



収録台本

2022年6月後半号

TIME	内容
	オープニングタイトル
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 さあ、とうとう最終回となりました。</p> <p>田村： 来てしまいましたね、この日が。 でも、仕方がないですね。決まったことなので。 泣いても笑っても最終回ということで、今回は過去の放送を大放送でお送りいたします。</p> <p>廣川： 長いことやってた番組ですから。</p> <p>田村： いろんな歴史がありますから、思い出のシーンを振り返りたいと思いますので最後までお付き合いください。</p> <p>廣川： そして、視聴者の皆さんからすごくたくさんのメッセージをいただいているんですね。</p> <p>田村： ありがとうございます。本当に。</p> <p>廣川： ありがとうございます。早速、一部ご紹介したいと思います。 「毎回楽しく拝見しておりましたが、6月末で終了されるとのこと。とても残念に思っています。市長がこんなに度々出てくる番組って本当はないと思うんです。外ロケにひょっこり出てくるとか、年始一発目には必ず出演されるとか。楽しい番組をありがとうございました」ということです。</p> <p>田村： 確かに市長は必ず出ますからね。</p>

廣川：

本当に何度も何度も出ていただきましたね。
後藤市長ともいろんなロケに行かれたりとか、
思い出もたくさんあると思うんですけど。

田村：

そもそも一番最初にやったロケが芸人同士でやってるみたいなロケでしたから。
伊射奈岐神社で2人でジャージ着て羽子板やって、顔に墨塗って。

廣川：

市長の顔に墨で。あんな機会なかなか無いですもんね。

田村：

ジャルジャルの後藤にもしたことはないのに。

廣川：

そうですね。お父さんに。
そのほかにも色々ありましたよね。

田村：

そうですね。 JR 吹田の駅前でいろんな吹田にゆかりのある芸人さんに
出てくれたりとかね。

廣川：

コロナ禍になってからは、リモート新年会があったりもしましたね

田村：

ありましたね。あの日も豪華でしたね。メンバーが。

廣川：

ときヨリぴーとの二人もいらっしゃって、“たじたじ” と言った感じでしたか？

田村：

そうでしたね。
市長が、僕らぐらいの芸人と良く接してるんですよ。
ジャルジャルをはじめ、そこそこのキャリアのある芸人と接してるから
なんとなくわかってきて、立場ある人からいじられても
「おいおい！」って言えるのを、ときヨリぴーともやるから、
ときヨリぴーとは若手やからどう返していいかわからなくて
タジタジになって「何かすみません！」みたいな

廣川：

そうですね

田村：

大先輩のお父さんやし。

廣川：
でも芸人さんという立場もあるから難しい

田村：
たじろいでましたけど。

廣川：
そして近年でいうと、「鉄道大集合スペシャル」今年ですね。

田村：
そうですね。今年の正月ですよ。
鉄道会社的にも、あれだけ鉄道会社の垣根を越えて
協力してやってくれるというのも
吹田と言う街がそれだけ鉄道に力を入れてきたという事もあるでしょうし、
色んな意味で歴史的な一日でしたね

廣川：
そうですね。市長が以外にも鉄道の事詳しいんだなって
凄くたくさん話もしてくださって。

田村：
ほんまに、その時の局面によっては、
鉄道の方より前のめりに喋ってましたからね。
入りすぎやろオッサン！みたいな、そんな感もありましたから。

廣川：
思い出はどんどん出て来ますし、語り尽くせないですけど、
これまでも過去のVTRをいろいろとお届けしてまいりましたが
まだまだあって出しきれていないんです。
そこで、印象的なものをまとめました。こちらです。

TIME	内容
	<p>ナレーション（荒川）</p> <p>1992年1月1日からの放送回では、「吹田の空からおめでとう」と題して、なんと市内上空をヘリコプターで撮影。これは、今から30年前の映像です。</p> <p>そして、こちらが5年前の映像。 メロードが出来たり、健都が建設中だったり空からの映像だけでも、歴史の流れを感じますね。</p> <p>1992年10月30日の放送回では、博物館オープンのニュースを取り上げました。</p> <p>田村さんも学校行事などで行かれたんじゃないですか？ 原始時代から現代までの吹田を調べるなら博物館へGo！</p> <p>あつい、あつい！吹田の夏を更に熱くするのが「吹田まつり」 この番組でも長らくお届けしてきました。 市民リポーターが現場からレポートしたり、</p> <p>神崎川では「ドラゴンボート」のレースが行われたり、</p> <p>前夜祭では花火が打ち上ったり、</p> <p>フィナーレをかざる「好いたおどり」に密着したりしました。</p> <p>今や大人気の「あの子」が初登場！ほらほら！ 出てきたよ～！</p> <p>2015年11月、エキスポランド跡地に「EXPOCITY」がオープン。 高さ日本一の観覧車、日本初出店のテナント、日本初の設備を導入した映画館など話題満載。 大阪府以外からも多くの人を訪れるレジャースポットとなりました。 そして、今年創業初的大幅リニューアル。 「インフォレスト吹田」も生まれ変わりました。</p>

TIME	内容
	<p>2016年2月14日、「パナソニックスタジアム吹田」のこけら落としマッチが開催。 日本で初めて建設費を市民や企業からの寄付金で賄った国際規格のスタジアムとして注目を集めました。 ガンバ大阪のホームゲームのほか、FIFA クラブワールドカップの会場になるなど、吹田の名が世界に発信されています。</p> <p>この番組でも毎回登場する「太陽の塔」。 その中には「生命の樹」があることは、もう有名ですよ。 でも、1970年の大阪万博以降、2018年の公開再開まで原則非公開だったんです。 その非公開の最中、太陽の塔内部をカメラに収めたのもこの番組だったんですよ。 もちろん、新しくなった内部もご紹介しました。</p>

田村：

う～ん、すごいね～！

廣川：

いろんな過去のVTRが出て来ました。

田村：

さすが歴史がありますね。
吹田まつりも行きましたよね

廣川：

そうですね。

田村：

みんなで水鉄砲、しかも最新版のシャカシャカしたら勢いの増すやつとかで
撃ち合ったりとかね。
市長もいるし、ジャルジャルの後藤君も来てくれてましたし、
あんなんでわいわいするのも楽しかったですし、
だんじりを見る時の、アナウンスも学生さんがやったり
地域に密着した感じも楽しかったですね。

廣川：

それからEXPOCITYだったりとか、パナスタも出て来ましたし。

田村：

すごかったですね。
本当にEXPOCITYなんていうのは、すごく良い施設でありながら、
実験的なこともやってるじゃないですか。
ニフレルも水族館の今までの固定概念を壊すような新しい感覚で遊べるし、
おしゃれだし、VS PARKも、ああいう施設があって身体を動かさせてって
なかなか無いから、すごく良いなと思うし。僕が中学生くらいやったら
モテたいし、女の子と行きたかったやろうな～。

廣川：

良いですね。デートでも使ってる方もいるかもしれない。

田村：

1年の間だけですけれどね、僕が行けるのは。2年からとんでもない地獄が待ってますから。中1の間はギリギリ2回くらいは行けたと思うんで、1年の間に。パナスタもサッカー界の中でも世界で見ても綺麗な、すごく見やすいスタジアムっていうのが皆さんからの協力で出来てるというのが吹田市にあるっていうのは、我々の誇りですよ。自慢するものが多すぎるよね。これは本当にみなさんの努力のおかげですけど。有難いですよね。話したいこといっぱいね。

廣川：

本当にそうなんですよ。
ここまで、過去のVTRを中心にお届けしました。

ワンポイント手話

TIME	内容
	<p>田村 さあ、「すい散歩」の時間でございます。 なんとまさかのいつもの楽屋からスタートということで 一体どこに何をしに行くんですか？今日は？</p> <p>スタッフ 今回はこの番組に欠かせない、ある作業を見学したいと思います。</p> <p>田村 えっ！？ある作業？編集？</p> <p>編集現場しかあり得へんやん。お前のトーク編集しにくいねん…みたいな。 あっ！すげえ！</p> <p>スタッフ 実はここで毎回手話の収録をしています。</p> <p>田村 あっ、そうですか。</p> <p>わかります？あれ。 今喋っているところをお箸みたいな指し棒で指して、巻いた紙を、 巻物みたいなやつをスライドさせていって、それをカメラで映して モニターに出しているんですけど…、めちゃくちゃアナログやん！</p> <p>スタッフ 20年前からやり方が全く変わっていないそうです。</p> <p>田村 20年前から。そうか、歴史があるからこそ、いにしえの手法が 受け継がれてんねや。</p> <p>ちょっと行きましょか ほんなら。おはようございます、すみません。 いつもこんな感じで収録しているんですか？</p>

領木

そうです。

田村

何年ぐらい手話通訳をやられているんですか？

領木

10年ぐらい。

田村

いつもこの紙を送るテロップを出す方、手話される方、手話をチェックされる方と、この3人体制なんですか？

領木

そうです。

田村

こんな機械 いまだに使ってるところありますか？
これは誰が作られているんですか？

領木

私が作りました。

田村

まじですか？

領木

紙をずっと並べて貼って繋いでいきます。

田村

本当にご苦労様です。ありがとうございます。すごいな。
やっぱり手話を入れるためにこれだけの手間がかかっているんですね。
僕の喋り方や癖とかで手話しにくいところはあるんですか？

領木

すごく早いので遅れてしまいます。本当大変なんです。

田村

すいません！それは僕だけ？それとも世の中の芸人皆そうなんですか？

領木

そうですね やっぱりお笑いの人は速いのはわかっています。
だから私たちが工夫しているんです。

スタッフ

せっかくですから、自分の喋っているところに自分で手話のワイプを
入れてみるのはどうでしょう？

田村
マジっすか？

スタッフ
最後に。

田村
やってみたい！いいですか？

領木
どうぞどうぞ

田村
じゃあ、ここからやんね。「3年ぶりに吹田産業フェアが開催」からですね。

3年ぶり…。で、もう一回3年ぶり？

領木さん
繰り返したから省いてもいいです。

田村
そうね、そうね。何回言うねんって思ってたんでしょ？

領木
うん。

田村
すいません、すいません。これはすごくよく分かるし、すごい反省。
何回言うねん「3年ぶり」。4回言うてますよね、交互に、会話の中で。
無駄やわあ。これ、廣川さんも悪いよ。

田村
いいですか？

スタッフ
10秒前9、8、7、6、5秒前・・・

～テレビの音～

田村
「お元気ですか市民の皆さん」麒麟の田村裕です。

廣川
廣川陽子です。
さあ、田村さん3年ぶりにですね、あの吹田産業フェアが開催されるんです。

田村
お～！ついに。3年も空きましたか。

廣川
そうなんですよね。
前はオンラインで開催されましたけどリアルイベントは3年ぶり。

田村
リアルは3年ぶり。すごいじゃないですか！

田村
もう1回もう1回。1ミスがとんでもないことになる！

皆さんがおっしゃっていた速いっていうのが、すごくよく分かりました。
ずーっと何かに追われながら、あれも見なあかん、これも見なあかん、
やらなあかん、で、どの手話やったっけ？っていう。
もうやること多すぎて、すごい大変！
もう1回やらせてもらっていいですか？

領木
最後のあたりが（もう1回やったほうがいい）。

田村
そうね、そうね、やらせてください お願いします！

スタッフ

5秒前・・・

田村

めっちゃ緊張するな。

～テレビの音～

田村

「お元気ですか市民の皆さん」麒麟の田村裕です。

廣川

廣川陽子です。

さあ、田村さん3年ぶりにですね、あの吹田産業フェアが開催されるんです。

田村

お～！ついに。3年も空きましたか。

廣川

そうなんですよね。

前はオンラインで開催されましたけどリアルイベントは3年ぶり。

田村

リアルは3年ぶり。すごいじゃないですか！

田村

OK？いけた？いけた？

一同

(拍手)

田村

いけた～！ありがとうございます。

すげー！めっちゃ嬉しい！とんでもない達成感がある！今ので何秒？

スタッフ

今のでオープニングから45秒です。

田村
番組何分あるんですか？

スタッフ
30分です。

田村
(笑)

本当に約20年間手話通訳をずっとつけていただいて、
今まで本当にありがとうございました。お疲れ様でございました

領木さん
田村さんもありがとうございました。

田村
またどこかでお仕事できることを楽しみにしております。

領木さん
ありがとうございました。

TIME	内容
	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん 最終回。特別編でお送りしています。</p> <p>廣川： ここでみなさんから頂きましたメッセージをご紹介します。 「田村さん、廣川さん、お疲れさまでした。 「お元気ですか！市民のみなさん」が6月末で終了する、という知らせを聞いて、もっともっと見ていたかったのに非常に残念です。 私は2011年の3月に吹田に引っ越して来て、その頃から番組を見始めたので、前MCのマツモトアキノリさん、木戸優希さんの頃から拝見していました。そして、この番組で吹田のゆるキャラ「すいたん」を知りました。「すいたん」は全国のゆるキャラと比べても、ハイクオリティでとてもかわいいゆるキャラだと思います。田村さんと「すいたん」が一緒に「すいたんダンス」をしているところを是非見たいです。」 ということで。「すいたんダンス」は、田村さんご存知ですか？</p> <p>田村： YouTube で見たのかな？それとも Twitter かな？ 何かで見たことある気がする。</p> <p>廣川： 「吹田くわいを知ってる？」という歌があるんですが、それに合わせて作られたダンスで、この番組でも毎回、市内のいろんな幼稚園に協力頂いて「すいたんダンス」を放送していました。</p> <p>田村： でも、やっぱり見たことはあります。</p> <p>廣川： メッセージをいただいたこの人の様に、田村さんがMCをされる前から番組をご覧いただいている人もたくさんいらっしゃると思います。 そこで、今回、過去にキャスターをしていただいた先輩方からメッセージが届いているということなんです。さっそく見てみましょう。</p>

TIME	内容
	<p>木山： お元気ですか！市民のみなさん スタジオの田村さん こんにちは、木山美佳です。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> まず、メッセージをいただいたのは、6年間市民キャスターを務めた 木山美佳さんです</p> <p>木山： 一つは自分自身の失敗談なんですけど、市長インタビューに行ったんですね。 で、朝食をとらずにインタビューに行ったんですけど、市長インタビューを している間にお腹が小さく鳴ったんですね。現場ではそんな気になるほど 鳴らなかったんですけど、編集する時スタッフに、当時（私は）「きーやん」 って呼ばれてたんですけど、「きーやん、編集しにくいわ！」って 凄い叱られました。それから、食事をとって取材に行こうと思いました。</p> <p>最初番組を担当させていただいた頃は、きれいに原稿に沿って 話をしようと思っていたんですね。 でも、ある時「違うな」と思って“伝わりやすい伝え方をしたい”と 思ったんですね。原稿を頭の中に入れて、それを語るように話していたので それはものすごく今に活かされてたりします。</p> <p>吹田市で行われていることって、ものすごく素晴らしいことがあると 思うんですね。その情報発信をすることで、改めて住んでいる私達も 「こういう事に取り組んでいるんだな」とか、「こういうイベントが あるんだな」とか、「こんな活動をしている人がいるんだな」ということで、 吹田に住む誇りにもなるし、いろんな事に興味を持ち、 自分も参加してみようかなという気持ちにもなりますし、 これからも情報発信をぜひ分かりやすく続けていただきたいと思います。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> 続いては？</p> <p>内藤： お元気ですか！市民のみなさん、そしてスタジオの田村さん。 こんにちは！内藤朝華です。みなさんお久しぶりです。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> この番組で思い出は？</p>

TIME	内容
	<p>内藤： 一番の思い出は、特集で友好交流都市に行かせていただいて全部制覇したっていう。妙高で食べたお肉ですとか、土佐町の鰹、ただ楽しみに行っただけでしたね。 美味しい物を食べに行って、私にとってはただの旅行でした。すみません。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> 広報課職員と一緒に出演していましたよね。</p> <p>内藤： 広報課の方がいらっしゃると、ちょっと疑問に思った事をその場で聞けるという事があったので、私にとっても勉強になることが多かったですし、ただ、広報課の方は初めてテレビに出られるという事で、いつも皆さんガチガチに緊張してはって、それを和らげるのが当時は大変でしたね。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> 内藤さんと言えば、ガンバ大阪のスタジアムMCですよ。</p> <p>内藤： ガンバ大阪のスタジアムMCを11年間、昨年までさせていただいたんですけど、実はこの番組がきっかけだったんですよ。 この番組を見ていただいたガンバ大阪の方が「内藤さん、ガンバめっちゃ好きやし、スタジアムMCどう？」って声をかけていただいたことがきっかけで、もうね、私の夢はこの「お元気ですか！市民のみなさん」で叶ったんですよ。 だから、パナソニックスタジアムでもそうですし、万博競技場でもそうでしたし、吹田市内でガンバのイベントをした時でも、結構吹田市内の方に声をかけていただいて、それがすごい嬉しい思い出でした。</p> <p><u>ナレーション（荒川）</u> 最後はこの2人！</p> <p>マツモト： みなさん、こんにちは。 お元気ですか！市民のみなさん マツモトアキノリです</p> <p>木戸： 木戸優希です。</p>

TIME	内容
	<p>マツモト： さあ今日は、この番組が終了してしまうという事で 僕たち元MCがコメントを寄せてもらう事になりましたけど 木戸さん、いろんな思い出ありますよ。特に印象的な思い出、ありませんか？</p> <p>木戸： 本当にたくさんあるんですけど、特集で兵庫県香美町香住に 私、カニを食べに行きまして、カニの被り物もしてテンションアゲアゲで、 本当に美味しく、すっごく良い思い出でした。</p> <p>マツモト： なるほどね。あと、この番組を通して僕たちもいろいろ勉強させてもらいまし ました。 今、実はね、(私)地域の消防分団に入団しまして、ちゃんと活動してますよ。 意識ぐっと上がりましたし、それもこの番組のおかげだと思いますし。 いろんな吹田市政についても伝えましたけど、こういうふうにして サービスが成り立っているんだと感じて、一つ一つのサービス、 子育てとかいろんなサービスに対して「当たり前」から「感謝」に 変わりましたね。道路歩いてても「ありがとう道路」と、 図書館行っても「ありがとう本」と、常に感謝にあふれる人間になりました。</p> <p>木戸： ほんまですか。私、道路まで感謝が行き届いていない…。</p> <p>マツモト： 道路は言い過ぎた。</p> <p>木戸： 言い過ぎですか。</p> <p>マツモト： 言い過ぎたけど、それぐらいの気持ち芽生えるきっかけになったのは この番組でしたね。さあ、いろいろ話は尽きませんが、 またどこかで視聴者の皆様とお会いできる機会があるかもしれませんし、 その際は是非、マツモトアキノリと、</p> <p>木戸： 木戸優希を</p>

TIME	内容
	<p>マツモト： よろしくお願ひします。 そしてこの番組のMCを務められました田村さん、長い間どうもお疲れ様でした。 この時間のお相手は、マツモトアキノリと</p> <p>木戸： 木戸優希でした。</p>

TIME	内容
	<p>廣川： 歴代のいろいろな方からメッセージをいただきました。</p> <p>田村： ありがとうございます。恐縮しますね。皆さんが居たので番組が続いてきて歴史があるということで。市民キャスターの木山さん、きーやん。すごくお綺麗な方で、今も全然老けてなかったですけど、市民キャスターでありながら、おっしゃってることがプロのような意識を持ってやってらっしゃったんやなと、よっぽど番組と吹田を愛してはったのがよく伝わりましたし、あの短いインタビューの中で内容がギュッと詰まってて、すごく上手く喋ってはったので、すごいなと思いながら見てましたけど。お腹鳴るくらいええけどね。全然あるけどね、そんなん。</p> <p>廣川： ありますよね。</p> <p>田村： しょっちゅうあるけど。当時はそんなんあったんでしょね。</p> <p>廣川： さあ、番組も時間が残すところ、あとわずかとなってきました。田村さん、ここまでいかがでしたか？</p> <p>田村： そうですね。やっぱり歴史がある番組なので、振り返りが楽しいですし、たぶん相当厳選してこれだと思うので。4年間、廣川さんもいろいろと携わってきましたけど、いかがでしたか？</p> <p>廣川： 私もリポーターをやらせていただいたり、ここに座らせていただいたりして4年間この番組に携わらせていただきまして。</p> <p>田村： 最初からリポーターやりましたもんね。</p>

廣川：

そうなんです。

二フレルの裏側へ行ったりとか、平野ファームさんへ行ったりとか、安永真白さん、オリンピック選手にお話しを伺ったりとか、本当にいろんな吹田の方に会わせていただいたりとか、吹田の魅力を私自身も感じて、それを皆さんへお届けするという立場でしたけど、吹田のことがより好きになりましたね。

田村：

コロナが無ければ、ロケに出て皆さんと触れ合って、もっと吹田の良いところをいっぱい知って、もっと情報発信できたはずなんですよ。

廣川：

限られた環境の中で、ここ2～3年は。

田村：

世界中がそうなんで、これは言いつこ無しですけど、もっと触れあえたらもっと楽しく時間を割けたのかなっていうのがあるので。結構、後半はスタジオのみでしたからね。寂しかったのは寂しかったですけど、でも、こういうケーキを作っていたいたりとか。本当に皆さん、ありがとうございました。この番組は終わりますけど、今後は吹田市の情報を何処かで皆さんへ届けなければいけないので、吹田市の公式 YouTube の方でそういう情報は今後出ていくということなので、YouTube チャンネル登録していただいて、更新するたびに毎回見ていただけると幸いですし、皆様が声をあげていただければ、YouTube の方に僕とか廣川さんとか、いろいろな関係者の方が出してもらえるとということがあり得るかもしれません。「ときりぴーと」と僕の3人のロケも実現するかもしれませんし、スパイシーさんとロケに行かせていただくこともあるかもしれませんし、皆様が声を上げていただければやるかもしれませんのでね。ぜひとも、たくさん見ていただいて応援していただけますと幸いです。本当に皆様、長いことありがとうございました。それでは、またお会いする日まで「お元気」でお過ごしくださいませ。さようなら～！ありがとうございました。みなさん、ずっと「お元気」で！